

Enterprise Audit – Google Workspace連携設定

Enterprise Audit - Google Workspace連携設定

- Google Workspaceをご利用のお客様向けに、Google Workspaceで送受信したメールをEnterprise Auditにアーカイブするための設定について説明しています。
- 本設定実施後、Google Workspaceで送受信したメールがEnterprise Auditにアーカイブされ、Enterprise Audit上で検索できるようになります。

設定方法

1. Google Workspace 管理コンソールへログインします。

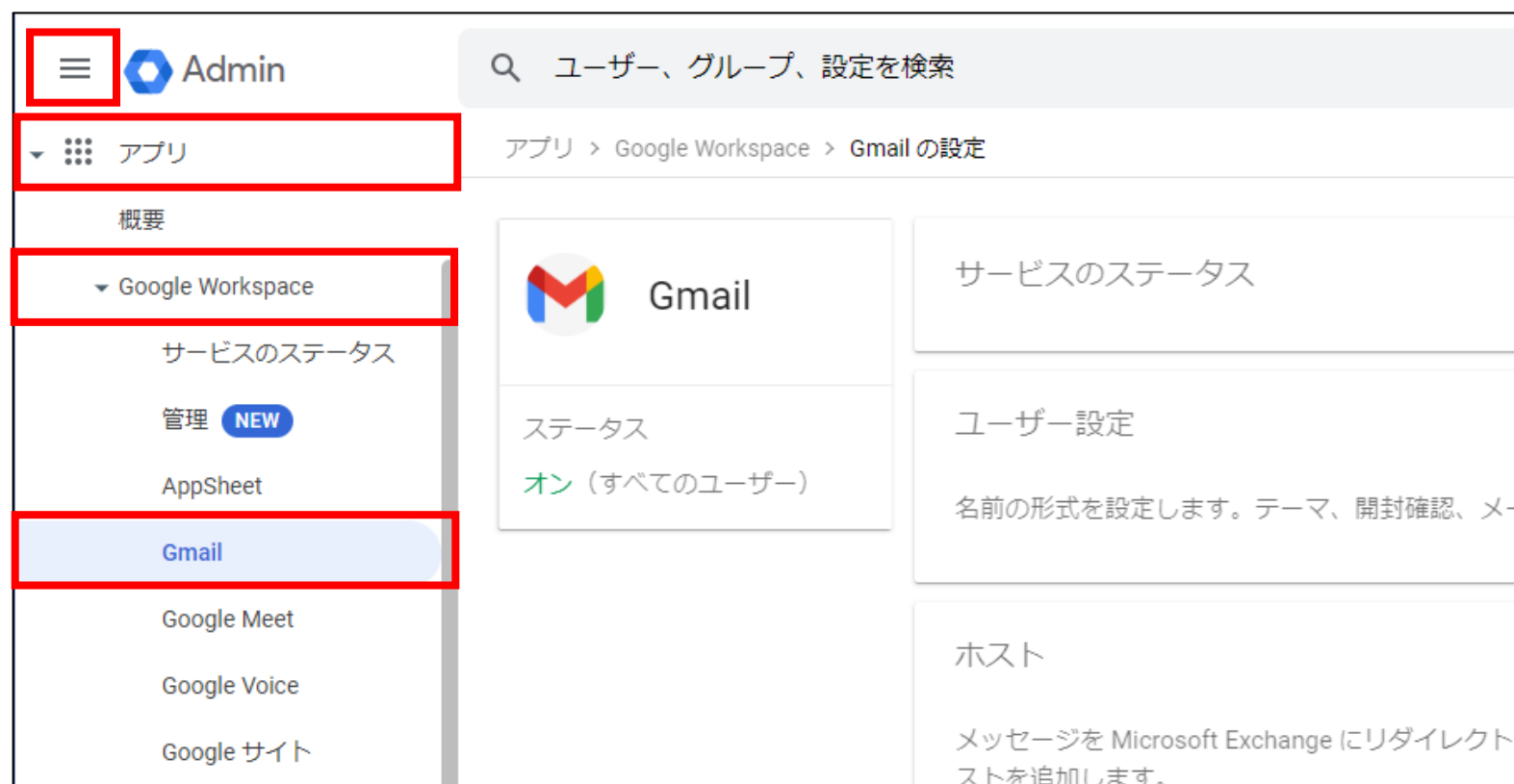
ブラウザより下記URLへアクセスします。

<https://admin.google.com/>



設定方法

2. 画面左上のナビゲーションメニュー（三本線）をクリックし、
[アプリ]-[Google Workspace]-[Gmail] の順にクリックします。



設定方法

3. 画面右側のメニューより、[ホスト]をクリックします。



設定方法

4. 「ルートを追加」をクリックします。

The screenshot shows the Google Admin console interface. On the left, the 'Admin' menu is visible with 'Gmail' selected under 'Google Workspace'. The main content area shows the 'Hosts' settings for Gmail. A table with columns '名前' (Name), 'ホスト' (Host), and '操作' (Action) is present. The '操作' column contains a button labeled 'ルートを追加' (Add route), which is highlighted with a red rectangular box. Below the table, there is an information icon and a note: '大部分の変更は数分で反映されます。詳細 以前の変更は監査ログで確認できます' (Most changes are reflected within a few minutes. Details: Previous changes can be confirmed in the audit log). At the bottom right, there are 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save) buttons.

設定方法

5. 開通通知書をご確認いただき、「メールのルートを追加」画面にて以下の内容を設定し「保存」をクリックします。

※開通通知書に記載のアクセスURLによって設定内容が異なりますのでご注意ください。

- ・ 開通通知書に記載のアクセスURLが「**https://mbspb.cybermail.jp**」のお客様

- 名前：任意
- メールサーバーの指定「単一のホスト」
「mtaspb.cybermail.jp」 「25」

- ・ 開通通知書に記載のアクセスURLが「**https://mbspm.cybermail.jp**」のお客様

- 名前：任意
- メールサーバーの指定「単一のホスト」
「mtaspm.cybermail.jp」 「25」

メールのルートを追加

名前 詳細

MailBase

このプレイルトは必須です。

1. メールサーバーの指定

番号が 25、587、1024～65535 のポートのみ使用できます。

単一のホスト ▼

mtaspm.cybermail.jp : 25

2. オプション

☐ ホストで MX ルックアップを実行する

☒ メールを送受信時にセキュリティ プロトコルで保護された (TLS) 接続を必須とする (推奨)

☒ CA の署名付き証明書を必須とする (推奨)

☒ 証明書のホスト名を検証する (推奨)

[TLS 接続をテスト](#)

キャンセル **保存**

設定方法

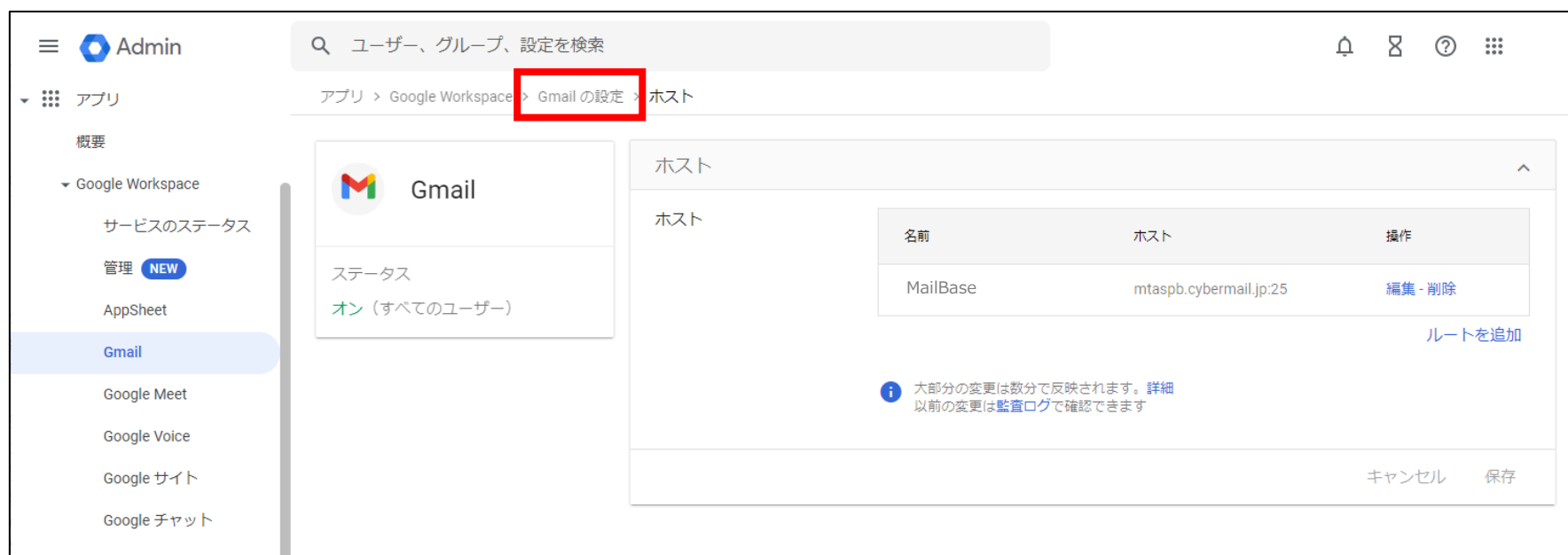
6. 保存後、手順5にて設定した内容が表示されます。

The screenshot displays the Google Admin console interface for configuring Gmail hosts. The left sidebar shows the navigation menu with 'Gmail' selected. The main content area shows the 'Hosts' configuration page. The 'Hosts' table contains one entry: 'MailBase' with host 'mtaspb.cybermail.jp:25'. The entry is highlighted with a red box. The table has columns for '名前' (Name), 'ホスト' (Host), and '操作' (Action). The '操作' column for the 'MailBase' entry shows a link for '編集 - 削除' (Edit - Delete). Below the table, there is a note: '大部分の変更は数分で反映されます。詳細 以前の変更は監査ログで確認できます' (Most changes are reflected within a few minutes. Details: Previous changes can be confirmed in the audit log). At the bottom right, there are buttons for 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save).

名前	ホスト	操作
MailBase	mtaspb.cybermail.jp:25	編集 - 削除

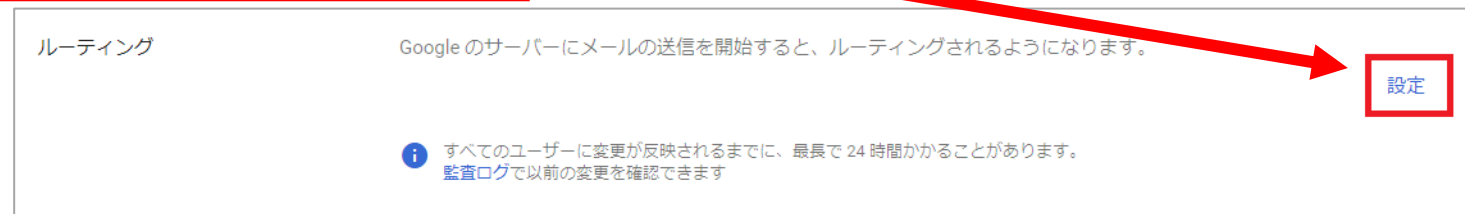
設定方法

7. 上部メニューの「Gmail の設定」をクリックし、「Gmail の設定」画面に戻ります。



設定方法

8. 画面右側のメニューより、[ルーティング]をクリックし、「設定」をクリックします。



設定方法

9. 「設定を追加」画面にて「ルーティング」欄に任意の名前を設定し、「1. 影響を受けるメール」へすべてチェックを入れます。

設定を追加

ルーティング

詳細

MailBase

1. 影響を受けるメール

☒ 受信

☒ 送信

☒ 内部 - 送信

☒ 内部 - 受信

2. 上記の種類のメッセージに対し、次の処理を行う

メッセージを変更 ▼

設定方法

10. 画面を下へスクロールし、「その他の配信先」欄にて「受信者を追加」へチェックを入れ、「追加」をクリックします。

設定を追加

その他の配信先

☒ 受信者を追加

受信者

まだ他の受信者が追加されていません。追加

追加

設定方法

11. 以下の画面が表示されるので、左上のプルダウンメニューより「詳細」を選択し「ルートを変更」へチェックを入れます。

設定を追加

基本 ▾

基本

詳細

メールアドレス:

送信先メールアドレスを入力

キャンセル 保存

設定を追加

詳細 ▾

上の変更と以下を適用:

ルート

☒ ルートを変更

通常のルーティング ▾

設定方法

12. プルダウンメニューでは、手順5で設定した名前を選択し「迷惑メールと配信のオプション」欄の下記2項目のチェックを外します。

- ・ この受信者に迷惑メールを送信しない
- ・ この受信者からのバウンスメールを送信元に送信しない

上記手順の完了後、「保存」をクリックします。

設定を追加

詳細 ▼

上の変更と以下を適用:

ルート

☒ ルートを変更

MailBase ▼

エンベロープ受信者

☐ エンベロープ受信者を変更する

迷惑メールと配信のオプション

☐ この受信者に迷惑メールを送信しない

☐ この受信者からのバウンスメールを送信元に送信しない

ヘッダー

☐ X-Gm-Original-To ヘッダーを追加

☐ X-Gm-Spam ヘッダーと X-Gm-Phishy ヘッダーを追加

☐ カスタム ヘッダーを追加

キャンセル

保存

設定方法

13. 「その他の配信先」欄に設定が反映されたことを確認し、「保存」をクリックします。

設定を追加

ルート

☐ ルートを変更

エンベロープ受信者

☐ エンベロープ受信者を変更する

迷惑メール

☐ このメッセージには迷惑メールフィルタを適用しない

添付ファイル

☐ メッセージから添付ファイルを削除

その他の配信先

☒ 受信者を追加

受信者

使用ルート: MailBase

追加

キャンセル

保存